



しまだ

ギター職人

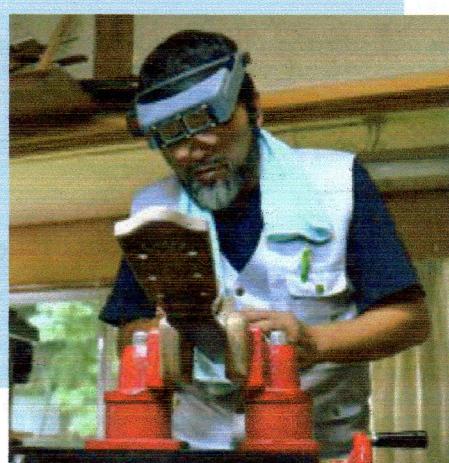
ひゃくたろう
百太郎さん(湯日)

(本名: 芹藤明裕さん)

今回は、独学でギター製作を学び、現在ハンドメイドのアコースティックギター製作に取り組んでいる「百太郎さん」をご紹介します。

全国でも珍しいハンドメイドギター職人。百太郎さんは、3年ほど前に精神的な病気になり、会社も退社。その時主治医に、「治療には、自分の好きな事をやるのが一番」と言われ、若いときから興味のあった、ギターづくりを始めたそうです。「百太郎」は、ギター製作者として使っているハンドルネーム。しかし、最近では、近所の人も親しくそう呼んでくれるそうです。昔の漫画「うしろの百太郎」から取ったとのことで、「僕は、何に付け、表より裏方で応援していく方が、性に合っているんです。近頃はやりのオヤジバンドを応援する「戦うオヤジの応援団」にも入っています」と屈託のない笑顔で、楽しそうに話してくれます。

近年、よい材料が少なくなってきて、いるというギターづくり。「一本作るのにも4ヶ月かかります。細かな作業や構造など、確かに難しい



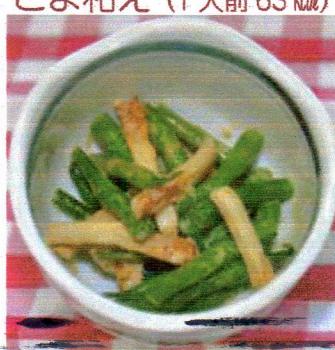
現在、来年の「TOKYOハンドクラフトギターフェス」に出品する作品を製作中。ギターの製作は、10分の1ミリ単位で行われる。

木が奏でる優しい会話――

- ①さやいんげんはへたを取り、塩を少々ふって板ずりをする。
- ②①を熱湯でゆで、冷水に取り、3~4cm幅に切る。
- ③ちくわはさやいんげんと同じ長さに棒状に切る。
- ④②と③を⑤で和える。

材 料 (4人分)	
さやいんげん	150g
ちくわ	2本
練り白ごま	大さじ2
砂糖	大さじ1
しょう油	大さじ1/2
塩	小さじ1/2
だし汁	大さじ2

いんげんとちくわの
ごま和え (1人前 63 kcal)



彩りもう一品

提供: 食推グループ「すみれ」